

■新年ごあいさつ■



あけましておめでとうございます。

昨年は、東芝の経営破綻危機から「原発の時代の終焉」が迫っていることを実感する年でした。しかし我が国では原発推進勢力は延命、再稼働へ暴走しています。他方、脱原発を求める国民多数の民意に応え、司法は良識を示し、伊方原発をさし止める画期的な高裁判決も生み出されました。今、原発推進勢力と、脱原発を求める市民は、一進一退の攻防の渦中にあります。

昨年は、私たちも活動3年目を走り抜きました。1号機、2号機で発電した電力を、㈱生活クラブエナジーに売電を開始し、「脱東電」を達成。横浜勤労者福祉協会の協力を得、うしおだ診療所屋上に3号機の建設が完了、本年2月には通電式を開催します。3号機のファイナンスは、公的機関である神奈川県及び㈱日本政策金融公庫から信用付与を得ました。また、有志より寄贈をうけた太陽光パネルを活用し、引き続き4号機の建設の可能性を探ります。

さらに、浜岡原発事故の神奈川への影響の研究成果を発表、神奈川県西部の勉強会で講師をつとめ、新たな脱原発運動が広がってきています。川崎市再生可能エネルギー市民条例案は、かながわ生き生き市民基金の寄付プロジェクトに選考され、運動展開の段階に入りました。おひさまフェス×星空上映会 in かわさきが3年連続開催に成功、今秋開催に向けて動き出しています。

今年も、川崎における「脱原発の旗」を立て続けるべく、みなさまと共に、一歩ずつ歩みを進めていく所存です。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



理事長 川岸 卓哉

← 1号機完成記念写真
撮影日 2015/2/1



■原発ゼロ市民共同かわさき発電所 3号機「通電式」

～3号機の歩みから日本と世界の再エネ動向を紹介します！～

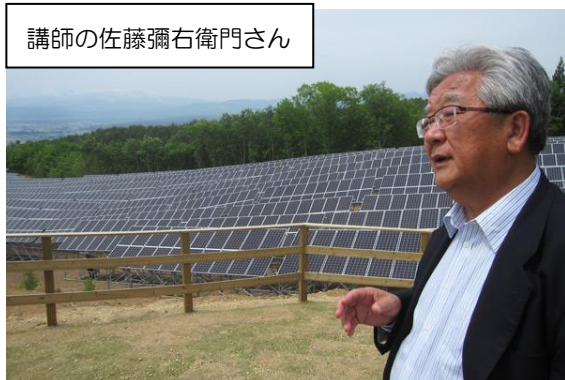
2月18日（日）、3号機の見学会と通電式を行います。見学会はうしおだ診療所にて12時～12時半、直接かJR鶴見駅東口改札口に11時半集合してください。通電式は汐田総合病院会議室にて14時～16時半。2ヶ所の移動にはマイクロバスを手配しています（定員オーバーで乗れないこともあります）。

これまで3号機については本誌で報告してきた通り、1号機・2号機にはない新たな試みをしてきました。一つ目は資金集め。今までは個人から無利子の資金を全額集めてきましたが、今回は神奈川県「地域主導再生可能エネルギー事業費補助金」に応募し採用されました。発電収入・事業経過等の報告を行いながら、20年間“無利息”で返済します。残り1/3は県の指導により金融機関から借りることになり、城南信用金庫からは融資を断られました。しかし、㈱日本政策金融公庫から低金利無担保で融資を受けることができました。市民電力連絡会の2017年度調査によれば、全国の市民発電所220ヶ所の内、㈱日本政策金融公庫から融資を受けた市民発電所は和歌山県のソーラーシェアリング1ヶ所しかありません。また、二つ目のチャレンジは、私たち市民が2度の研修を経てプロと一緒にDIYで太陽光パネル発電所を建設したことでした。



そして三つ目の試みは他団体との連携。公益財団法人横浜勤労者福祉協会との協力です。河合監督の最新作「日本と再生 光とギガワット」の上映会を共同で実施、今回の通電式も共催していただきます。更に、通電式では「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟（原自連）」に協力をお願いしました。原自連は、小泉元総理と細川元総理が顧問を務め『脱原発』を掲げる民間団体。1月10日、政府・自民党の原発政策を批判し、独自の『原発ゼロ・自然エネルギー基本法案』を発表しています。菅官房長官さえ記者会見で「法案の具体的な内容について承知していない。政府としては、徹底した省エネや再生可能エネルギーの最大限の導入に取り組み、原発依存度を可能な限り低減する」と述べています。

講師の佐藤彌右衛門さん



原自連から派遣していただく講師は、会津電力株式会社社長の佐藤彌右衛門（やうえもん）さん。福島県県内で代々続く「大和川酒造」9代目当主。地元の行政や金融機関、地域の仲間たちから融資を募り、地域電力「会津電力」を設立しました。長野市で行われたアジア初の「地域再生可能エネルギー国際会議2017」や「市民・地域共同発電所全国フォーラム2017」など各地で講演されています。また、今年2月上映の映画「おだやかな革命」（自然エネルギーによる地域再生。これからの時代の豊かさを巡る物語）

にも出演。「再生可能エネルギーで地域興し」と題して佐藤節を楽しく語っていただきます。

同時に「日本と再生」のダイジェスト版も上映。ドイツ、中国を始めアメリカ国防省が進める再生可能エネルギー計画など世界の動きを紹介します。

3号機の歩みから、原発ゼロと再エネに向かう世界と日本の躍動を感じてください。

理事 高橋 喜宣



■ 1, 2, 3号機の発電状況報告

3号機(12.96kW)が、2017年11月30日より稼働しました。今回は1, 2, 3号機の発電実績を報告します。2017年は8月と10月がシミュレーション割れしましたが、順調に発電しています。

●1号機(25.0kW)：2017年は31MW発電。前年29MW。累計90MW。

●2号機(16.5kW)：2017年は21MW発電。前年20MW。累計48MW。



3号機は、当NPO法人初の南向きでない東西5度設置にチャレンジしました。

冬の発電量が劣る弱点がありますが、夏季の発電に期待です。

4号機の設置場所を募集中です。
設置したい場所があればご連絡ください。

事業検討チーム 木田 千栄美



■太陽光パネルの引っ越し

1月7日(日)、少し寒い日でしたが絶好の好天に恵まれ、三浦市から中原区の田邊さんのお宅まで2台の2tトラックと鴨下さんのワゴン車でパネルとパワコンの運搬を行いました。参加したのは、トラック運転手の田中さん、木田さん、応援の斉藤さん、終始大活躍の鶴岡さん、高橋さん、田邊さん、鴨下さんと私、田中さんのお子さんも参加。9人が3台に分乗し、武蔵新城の日産レンタカーを8時半に出発、9時半にはパネル他を提供いただいた松田様宅に着きました。

油壺入口交差点の狭い道を華麗なハンドルさばきでパネルを置いてある庭まで進入、先ずはご挨拶、2014年3月からシート掛け・野積みされていたパネルを要領よく積み込みました。二人ずつでトラックまで運び、車上に二人、鶴岡さん、田中さんのリードで途中30分ほど松田トミ子さんからお茶とお話しの提供がありましたが3時間で終了しました。

パネルは中国トリナソーラー社製1枚255w(60セル)、18.6kgで148枚、パワコン1セット5.5kw、48kgが7台、他にケーブルもあり積み終わってみればほぼ満載でした。梱包材の整理、スズランテープなど残材を丁寧に除去し、お礼を言って出発。昼食をすき家でとり3時に田邊宅に到着、きれいな庭の一角に置かせていただきました。

機材提供いただいた松田さんは、野立て発電設備を自宅庭に自力で作ろうとしていたご主人が急逝され、遺志を継いでもらえるところを探しておりました。太陽光発電を進める当NPO川岸理事長に連絡いただき、今回の譲渡に繋がりました。19日には川崎市幸区に引っ越されます。当団体にも加入をお勧めしていますので、これからもよい関係を築けそうです。

あとは、田邊さんの迷惑にならないよう早く設置先を決めたいと思います。正月早々、日曜日をつぶして作業いただいたみなさん、本当にお疲れ様でした。

事業検討チーム 永田 眞一

パネルの用途はまだ決まっていません。設置場所を募集中です！

【編集後記】 オモテに出ないウラ話

11月に神奈川県が5年ぶりに公募した「太陽光発電の屋根貸し事業」は川崎地域エネルギー市民協議会が交渉してきた賜物。当NPO法人が代表事業者(共同企業体)となり、期待に胸を膨らませて資料を揃え応募した。FIT 価格が下がっているこのご時世に応募があるのかと県は危ぶんだが、蓋を開ければ約10社が競い合うこととなり、風前の灯火のごとく消えた。県の再エネ条例は、市民団体の加勢にはなってくれなかった…。(加藤伸子)



三浦市で頂戴したパネル148枚とパワコン7台をトラック2台に積み込み終了。そして川崎へ。

■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189 (川岸)

でん太通信は毎月15日に発行しています。

